

三町東西四里南北三里餘アリ

(八三) 伊豫ノ郡名ヲ問フ

謂ク風草、和氣、温泉、久米、越智、野間、周布、新居、桑村、宇摩、下浮穴、伊豫、上浮穴、喜多、西宇和、東宇和、南宇和、北宇和是ナリ

(八三) 松山市ノ位置及戸口ヲ問フ

謂ク伊豫ノ西北端ニ位シ温泉郡ノ西邊ニ在リテ重信川ノ北岸ニ沿フ市坊六十三戸數八千三百余人人口三萬二千余アリ現時愛媛縣廳及ヒ第五師管第十旅團ノ大隊營アリ

(八四) 今治町ノ位置及戸口ヲ問フ

謂ク伊豫ノ極北ニ位シ越智郡ノ北隅ニアリ戸數三千余人人口一萬三千余アリ松山ヲ距ルテ十二里十七町

(八五) 宇和島町ノ位置及人口ヲ問フ

謂ク伊豫ノ西南端ニアリ北宇和郡ノ西海岸ニ瀕ス戸數二千八百余人人口一万一千余アリ

(八六) 伊豫ノ名邑ヲ問フ

謂ク西條(新居郡) 川江(宇摩郡) 小松(周布郡) 三津(和氣郡) 大洲(喜多郡) 吉田(北宇和郡)

(八七) 大嶋及大三嶋伯方嶋ノ位置周圍ヲ問フ

謂ク大嶋ハ伊豫ノ東北瀬戸内海ニ在リ越智即波止港ノ東二十七町ニ位ス周圍十一里余東西二里南北二里

大三嶋ハ大島ノ北十五町ニアリ西方安藝ノ大島上島ト相對ス其距離二十四町余周圍十四里三十一丁東西二里十八丁南北二里三十丁アリ

伯方島ハ大島ノ東北九町ニアリ周圍十里余東西二里余アリ

(八八) 伊豫ノ名アル高山ヲ示セ

謂ク石槌山、伊豫ノ東北部ニアリ新居浮穴ノ兩郡ニ跨ル此他別子山等アリ

(八九) 伊豫ノ銅坑バ幾個處アリヤ

謂ク浮穴郡ニ三ヶ所宇摩郡、新居郡、周布郡、ニ各一ヶ所アリ

(九〇) 伊豫ノ名アル温泉ヲ示セ

謂ク道後礦泉、温泉郡道後村ニアリ松山市ヲ距ルヲ十八町、此他宇和川、武陵、八重栗、魚威、地野、久保地、楠窪、本谷、山崎等アリ

(九一) 伊豫ニ名アル川流ヲ示セ

謂ク肱川、東宇和郡ノ山間ニ發源ス 仁淀川、浮穴郡石槌山ノ西麓ヨリ發ス

(八三) 伊豫ニ名アル瀑布ノ名稱及其高サヲ示セ

謂ク高瀑 周布郡千足山ニ在リ高サ百三十丈幅五十間

(八三三) 伊豫ノ重ナル海港ヲ問フ

謂ク宇和島港(北宇和郡) 三津港(和氣郡) 波止濱港(野間郡) 中泊港(宇和郡)

(八三四) 佐田岬ノ位置如何

謂ク伊豫ノ西端ニ在リ宇和郡ノ山嶺斜メニ西南ニ斗出ス其長十五里ナリ

(八三五) 土佐ノ郡名ヲ問フ

謂ク土佐、幡多、高岡、吾川、長岡、香美、安藝ノ七郡ナリ

(八三六) 高知市ノ位置及戸口ヲ問フ

謂ク土佐ノ南土佐灣頭ニ在リテ鏡川ノ東岸ニ位ス市坊四十九戸數八千六百余人人口三萬二千余高知縣廳所在ノ地ナリ

(八三七) 土佐ノ名邑ヲ問フ

謂ク中村(幡多郡) 安藝(幡多郡) 赤岡(香美郡) 山田野地(香美郡) 高岡(高岡郡)

須崎(高岡郡)

(八三八) 土佐ニ名アル山岳ヲ示セ

謂ク三瀧天狗森山、雪光山、矢筈山、檜山等ナリ

(八三九) 土佐ニ名アル川流ヲ示セ

謂ク吉野川、物部川、渡川等ナリ

(八四〇) 吉野川ノ發源及其延長ヲ問フ

謂ク土佐郡北部ノ山間ニ發源ス延長六十一里本道第一ノ大河ナリ

(八四一) 土佐ニ銅坑幾個所ニアリヤ

謂ク土佐郡ニ三ヶ所幡多郡ニ一ヶ所吾川郡安藝郡ニ各三ヶ所アリ

(八四二) 土佐ノ重ナル海港ヲ示セ

謂ク浦戸港(吾川郡) 須崎港(高岡郡) 甲ノ浦港(安藝郡) 室津港(安藝郡) 宇佐港(高岡郡)

下田港、清水港、古満目港、泊浦港、小筑紫港、湊浦港、宿毛港(以上幡多郡)

等ナリ

(八四三) 土佐ノ重ナル岬灣ヲ示セ

謂ク室戸岬、蹉陀岬、土佐灣是ナリ

(八四四) 土佐灣ノ位置如何

謂ク土佐ノ南ニ在リテ室戸、蹉陀ノ兩岬海水ヲ抱テ一大灣ヲナス沿岸一百里二岬相距ル

丁直經三十里許

第十篇 西海道

(八四) 西海道ノ位置及境域ヲ問フ

謂ク本道ハ我邦ノ西南部ニ位シ九洲島及ヒ壹岐、對馬、琉球ノ四大島其他是ニ付屬スル數多ノ小嶼ヲ以テ成立ス東南ハ太平洋ニ面シ西北ノ一部ハ日本海ニ瀕シ東北ハ海峽ヲ隔テ山陰、山陽、南海ノ三道ト相對セリ

(八四) 西海道ノ經緯度ヲ問フ

謂ク經度ハ東經百三十二度零四分ヨリ百二十八度十五分ニ至リ緯度ハ北緯三十三度五十八分ヨリ二十六度五十九分ニ盡ク

(八四) 西海道ノ延長幅員及面積ヲ問フ

謂ク東西ノ幅員三十五里南北ノ延長七十六里面積二千三百一十一方里屬島面島三百零五方里合計二千六百十七方里アリ

(八四) 西海道ノ戶數人口ヲ問フ

謂ク戶數百十二萬七千五百五十、人口五百七十九萬九千九百五十二

(八四) 琉球ノ面積戶口ヲ問フ

謂ク面積百五十六方里戶數七萬七千九百零三人人口三十八萬一千四百四十二アリ

(八五) 西海道ハ地勢上及行政上幾區劃トナスヤ

謂ク現今分テ十二國百十三郡トナシ又七縣六市トス

(八五) 西海道ノ地勢如何

謂ク本道ハ南北長クシテ東西短カシ四周繞ラスニ海ヲ以テス其北部西端ニ在ルチ肥前トス筑前其東北ニ接シ豐前又其東ニ聯ル筑後ハ頗ル小ニシテ兩肥ノ中間ニ分在シ豐後ハ豐前ノ南ニ隣リ其西端豐前肥後ノ間ニ鑿入シテ二筑ノ邊隅ニ迫ル肥後ハ大國ニシテ筑後豐後ト東北境ヲ接シ東日向ト交接ス大隅薩摩ハ東西相双ンテ日肥ノ南ニ隣レリ

(八五) 西海道中著名ナル山岳ヲ問フ

謂ク豐前ノ英彦山、鹿熊山、鹿嵐山、豐後ノ由布岳、鶴見山、九重山、祖母岳、傾岳、筑前ノ背振山、雷山、浮岳、根智西、寶滿山、寒水峠、筑後ノ御前岳、熊渡山、肥前ノ天山、多良岳、肥後ノ阿蘇山、國見岳、江代山日向ノ法華山、霧島山、行騰山、尾鈴山大隅ノ國見岳、高熊山、垂水岳、薩摩ノ紫尾山、御岳、金峰山、開聞山、野間岳、壹岐ノ魚釣山、對馬ノ御岳、矢射立山等ナリ

(八五) 西海道中著名ナル河流ヲ問フ

謂シ嘉麻川、筑後川、大分川、大野川、菊池川、緑川、球摩川、美々津川、大淀川、川内川等ナリ

(八五) 西海道中重ナル火山ヲ示セ

謂シ豊後ノ鶴見山肥前ノ温泉岳肥後ノ阿蘇山日向ノ霧島山大隅ノ櫻島嶽薩摩ノ開聞山等ナリ

(八五) 西海道中重ナル温泉ヲ示セ

謂シ筑前ノ武藏豊後ノ別府、濱脇肥前ノ柄崎、肥後ノ山鹿、大隅ノ硫黄谷、福山宮ノ下、薩摩ノ湯ノ浦等ナリ

(八五) 西海道中著名ナル瀑布ヲ問フ

謂シ筑前ノ千丈瀑豊前ノ椎谷瀑豊後ノ震動瀑肥前ノ清水瀑、蘆山瀑、肥後ノ數鹿流瀑、松水瀑、白水瀑日向ノ布水瀑、大隅ノ犬飼瀑、薩摩ノ松前等ナリ

(八五) 西海道中ノ重ナル海港ヲ示セ

謂シ兩肥及筑後ニ亘レル筑紫港豊前ノ小倉港、筑前ノ福岡港、蘆屋港筑後ノ若津港、肥後ノ長崎港、肥前ノ島原港、佐世保港、名護屋港、唐津港、薩摩ノ鹿兒港等ナリ

(八五) 西海道中ノ重ナル岬灣ヲ示セ

謂シ豊前ノ門司崎豊後ノ關崎日向ノ都井岬筑後ノ志賀鼻大隅ノ佐多岬日向ノ志布志灣薩摩ノ鹿島灣等ナリ

(八五) 西海道中ノ重ナル海峡ヲ示セ

謂シ豊前ノ速鞆峡豊後ノ速吸峡肥前ノ瀬詰峡肥後ノ三角峡等ナリ

(八六〇) 西海道中ノ重ナル湖沼ヲ示セ

謂シ薩摩ノ池田湖(周圍四里廿九町) 筑前ノ鴨生田池(周圍三里) 大隅ノ大浪池(周圍二里)等ナリ

(八六二) 西海道中ノ重ナル平野ヲ問フ

謂シ筑後川、千歳川、菊池川、白川、緑川、川内川ノ沿岸及日向ノ八東部瀕海ノ地方等ナリ

(八六三) 西海道中ニ屬スル島嶼ノ重ナルモノヲ問フ

謂シ筑前ノ殘島、志賀島、大島、筑後ノ大野島豊後ノ姫島、大入島、肥前ノ平戸島、五島、松島、大島、香燒島、蠣島、黒島、針島、生月島肥後ノ天草島、日向ノ大島大隅ノ櫻島種子島、屋久島、鹿野島、薩摩ノ長島、甑島、硫黄島、惡名島、伊廣島、本浦島等ナリ

(八六三) 西海ノ驛路ヲ問フ

謂シ九州西街道、豊前ノ大西ヲ發シ筑前ノ中央ヲ貫キ筑後ニ入リテ肥後薩摩ノ西岸ニ沿

ヒ府中、熊本等ノ諸驛ヲ經テ薩摩ノ鹿兒島市ニ達ス延長七十一里三十三町
九州東海道豊前ノ小倉町ヲ發シ豊後大分町日向、大隅等ノ東海岸ニ沿ヒテ薩摩ノ鹿兒島
市ニ達ス延長百三十一里十三丁

長崎街道 筑前ノ福岡市ヲ發シ肥前ニ入り佐賀大村等ノ諸驛ヲ經テ長崎港ニ至ル延長四
十五里二十二町

(八四) 西海道中人口二萬以上ノ都市ノ名稱如何

謂ク薩摩ノ鹿兒島人口五萬七千余 肥前ノ長崎人口五萬五千余

筑前ノ福岡人口五萬三千余 肥後ノ熊本人口五萬二千余

琉球ノ那覇人口四萬余 肥前ノ佐賀人口二萬六千余

琉球ノ首里人口二萬六千余 筑後ノ久留米人口二萬四千余

(八五) 西海道ノ市制地ヲ問フ

謂ク筑前ノ福岡、久留米肥前ノ長崎、佐賀肥後ノ熊本薩摩ノ鹿兒島是ナリ

(八六) 西海道著名ノ物産ヲ問フ

謂ク筑前ノ博多織、筑後ノ久留米綿、生蠟豊前ノ小倉織豊後ノ豊後絞肥前ノ伊萬里燒肥
後ノ米穀日向ノ日向半紙大隅ノ國府煙草薩摩ノ煙草、薩摩燒、阿久根燒酎、七島筵、鱈

節壹岐ノ海産、對馬ノ鯨等ナリ

(八七) 筑前ノ郡名ヲ問フ

謂ク糟谷、宗像、鞍手、嘉麻、穗波、上坐、下坐、夜須、那珂、御笠、席田、怡土、志
摩、早良、遠賀ノ十五郡ナリ

(八八) 福岡市ノ位置及戶口ヲ問フ

謂ク早良郡ノ北隅ニ在リ那珂川ヲ隔テ、博多ト相連ル市坊五十余戶數九千四百余人口五
萬三千余福岡縣廳所在ノ地ナリ

(八九) 筑前ノ名邑ヲ問フ

謂ク博多(那珂郡) 姪濱(早良郡) 太宰府(御笠郡) 箱崎(糟谷郡) 秋月(夜須郡) 甘
木(夜須郡) 若屋(遠賀郡) 黑崎(遠賀郡)

(九〇) 筑前中ノ有名ナル山岳ノ名稱ヲ問フ

謂ク寶滿山、龍王山、熊ノ峰等ナリ

(九一) 筑前中ノ有名ナル川流ハ如何

謂ク嘉麻川ナリ一ニ遠賀川ト云フ嘉麻郡ノ東境嘉麻嶺ヨリ發シ下流ニ至リテ千歲川ト云
フ九州第一ノ大河トス

(八七三) 筑前ニアル有名ノ良港ヲ問フ

謂ク福岡港一ニ博多港ト云之レ本州第一ノ良港ナリ西北ニ向テ大灣ヲ開キ東西二里南北一里二十六町深サ四仞其他岐志港、相島港、蘆屋浦港等アリ

(八七三) 筑前ニアル有名ノ瀑布ヲ問フ

謂ク千丈瀑ナリ嘉麻郡泉河内ニアリ高サ六十丈濶三間アリ

(八七四) 筑前ノ名勝ヲ問フ

謂ク太宰府址、御笠郡觀音寺村ニアリ朝倉行宮址、上坐郡須川村ニアリ太宰府神社、御笠郡太宰府ニアリ香椎、博多灣ノ東岸ニアリ仲哀天皇行宮ノ古跡ナリ

(八七五) 筑後ノ郡名ヲ問フ

謂ク御井、御原、山本、三潞、上妻、下妻、生葉、竹野、山門、三池ノ十郡ナリ

(八七六) 久留米市ノ位置及戸口ヲ問フ

謂ク三潞郡ノ東北ニアリ筑後川ノ南岸ニ位ス市坊四十余戸數四千三百余人口二萬四千八百余佐賀ヲ距ルテ二十里十五丁

(八七七) 筑後ノ名邑ヲ問フ

謂ク柳川(山門郡) 榎津(三潞郡) 若津(三潞郡) 吉井(生葉郡) 福島(上妻郡) 瀬高

(山門郡)

(八七六) 筑後中ノ有名ナル高山ヲ問フ

謂ク御前嶽、高良山、鷲形山等ナリ又發心山ハ櫻花ノ名所ナリ

(八七九) 筑後中ノ重ナル海港ヲ示セ

謂ク若津港、三潞郡ノ西北ニ在リ

(八八〇) 筑後瀨トハ何レナルヤ

謂ク兩肥ノ中間ニ濫フル内海ノ古稱ナリ沿灣殆ト九十里アリ

(八八一) 豊前ノ郡名ヲ問フ

謂ク企救、田川、京都、仲津、築城、上毛、下毛、宇佐ノ八郡ナリ

(八八三) 小倉町及中津町ノ位置及戸口ヲ問フ

謂ク小倉町 企救郡ノ北端ニアリ大瀬戸ノ峽南ニ枕ム戸數二千四百余人口一萬六千余市坊二十五第六師管第十二師團ノ兵營ヲ置ク赤間關ヲ距ルテ海上三里許

中津町 下毛郡ノ西北隅ニアリ山國川ノ東岸ニ位シ北内海ニ瀕ス戸數二千四百余人口一萬二千六百余アリ

(八八三) 豊前ノ名邑ヲ問フ

謂ク鶴島(上毛郡) 長洲(宇佐郡)

(八八四) 豊前ノ名アル高山ノ名稱ヲ問フ

謂ク英彦山最モ峻秀ナリ高サ三千三百六十六尺

(八八五) 豊前ノ重ナル湖沼ヲ示セ

謂ク小倉池宇佐郡ニアリ周圍一里余

(八八六) 豊前ノ名アル瀑布ヲ示セ

謂ク椎谷瀑是ナリ東西二瀑ニ分ル高サ十二丈濶四間

(八八七) 小倉港ノ位置如何

謂ク企救郡ノ北端ニアリテ北ニ向フ東西四十五町南北十二町

(八八八) 門司崎ノ位置如何

謂ク企救郡門司浦ノ北端ニアリ又連鞆崎トモ云フ本道最北端ニ位セル一岬角ニシテ長門ノ壇浦ト對峙ス

(八八九) 耶馬溪ハ豊前ノ何レニアリヤ

謂ク下毛郡ニアリテ長溪數里風景絶倫海内第一ノ名勝ナリ

(八九〇) 宇佐神宮ハ豊前ノ何レニアリヤ

謂ク宇佐郡宇佐村ニアリ和銅五年ノ創建ニシテ應神天皇姫神功皇后ヲ合祀ス本道第一ノ大社ナリ

(八九一) 豊後ノ郡名ヲ問フ

謂ク西國東、東國東、速見、大分、北海部、南海部、大野、直入、玖珠、日田ノ十郡ナリ

(八九二) 大分町及臼杵町ノ位置及戸口ヲ問フ

謂ク大分町ハ大分郡ノ北端ニ在リ一ニ府内ト云フ大分河口ノ西岸ニ位ス市坊四十余戸數二千余人口一萬一千余大分縣廳所在ノ地ニシテ南豊第一ノ都會地ナリ

臼杵町ハ北海部郡ノ東偏ニ在リテ海ニ瀕ス戸數二千百余人人口一萬大分ヲ距ル七里二十五丁

(八九三) 豊後ノ名邑ヲ問フ

謂ク森(玖珠郡) 日田(日田郡) 岡(直入郡) 佐賀關(北海部郡) 佐伯(南海部郡)

(八九四) 豊後ノ名アル高山ヲ問フ

謂ク黑岳高サ六千七百尺扇鼻山高サ四千六百尺祖母嶽高サ五千八百五十尺等ナリ

(八九五) 豊後ノ火山ヲ問フ

謂ク黒岳高サ六千七百尺扇鼻山高サ四千六百尺祖母嶽高サ五千八百五十尺等ナリ

(八九六) 豊後ノ火山ヲ問フ

謂ク黒岳高サ六千七百尺扇鼻山高サ四千六百尺祖母嶽高サ五千八百五十尺等ナリ

(八九七) 豊後ノ火山ヲ問フ

謂ク黒岳高サ六千七百尺扇鼻山高サ四千六百尺祖母嶽高サ五千八百五十尺等ナリ

(八九八) 豊後ノ火山ヲ問フ

謂ク黒岳高サ六千七百尺扇鼻山高サ四千六百尺祖母嶽高サ五千八百五十尺等ナリ

謂ノ鶴見山是ナリ速見郡ニ在リテ大分灣ノ西岸ニ屹立ス高サ殆ント六千尺

(八六) 豊後ノ礦山ヲ問フ

謂ク金銀坑、速見郡ニ一ヶ所アリ鐵銅坑、大野郡海部郡ニ各一ヶ所アリ

(八七) 豊後ノ名アル温泉ヲ問フ

謂ク別府礦泉、濱脇礦泉、其他鉄輪、觀海寺、上ノ田、堀田、柴石、湯ノ森、蕩郡、平田、地藏嶽、下湯ノ坪、乙丸、沼川、湯鼻、橋本、紫石、荒井御夢想等アリ

(八八) 豊後ノ名アル河流ヲ問フ

謂ク大分川、筑後川是ナリ

(八九) 大分川ノ發源及末流ヲ問フ

謂ク大分川ニ三源アリ一ハ速見郡油布岳ノ西南ニ發シ由布川又ハ透内川ト云フ第二ハ大野郡神角山ニ發シ赤坂川ト云ヒ下流ヲ七瀬川ト稱ス第三ハ直入郡大船山ニ發シ大分郡ニ入リテ透内川ニ會シ東奔シテ又七瀬川ニ會シ大分町ニ至リテ二派トナリテ海ニ注ク延長十三里アリ

(九〇) 豊後ノ岬角ヲ問フ

謂ク岡崎 海部郡ノ極東ニ在リ一ハ地藏崎ト云フ伊豫ノ佐田岬ト遙ニ相對ス

(九一) 肥前ノ郡名ヲ問フ

謂ク西彼杵、東彼杵、北高來、南高來、北松浦、南松浦、佐賀、神崎、基肆、養父、三根、小城、東松浦、西松浦、杵島、藤津ノ十六郡ナリ

(九二) 長崎市ノ位置及戶口ヲ問フ

謂ク彼杵半島ノ南部ニアリテ西彼杵郡ノ東南ニ位ス市坊七十五戶數九千二百余人口五萬五千余佐賀市ヲ距ルヲ二十九里佐賀縣廳所在ノ地ナリ

(九三) 佐賀市ノ位置及戶口ヲ問フ

謂ク佐賀郡ノ稍中央ニアリテ川上川ニ枕ム市坊三十許戶數四千八百余人口二萬六千四百余福岡ヲ距ルヲ十里余

(九四) 肥前ノ名邑ヲ問フ

謂ク蓮池(佐賀郡) 小城(小城郡) 諫早(北高來郡) 大村(東彼杵郡) 彼杵(東彼杵郡) 時津(西彼佐郡) 矢上(西彼彼杵) 深堀(西彼彼杵) 伊萬里(西松浦郡) 唐津(東松浦郡) 有田(西松浦郡) 平戸(北松浦郡) 福江(南松浦郡)

(九五) 肥前ニ最高キ山岳ヲ問フ

謂 太郎嶽是レナリ肥前ノ東部ニ屹立シテ藤津、彼杵、高來ノ三郡ニ跨ル次ニ領布振山

著名ナリ

(九〇六) 肥前ニ名アル温泉ヲ問フ

謂ク柄崎是ナリ杵島郡蓬萊山麓ヨリ涌出ス其他著名ノモノナシ

(九〇七) 肥前ニ名アル瀑布ヲ問フ

謂ク清水瀑 小城郡清水ニアリ高サ三十五丈

蘆山瀑 西松浦郡中通岩瀬ニアリ高サ三十丈

(九〇八) 肥前ニ名アル海港ノ位置ヲ問フ

謂ク長崎港、島原港、佐世保港、名護屋港、唐津港等ナリ

長崎港 肥前ノ南部ニ在リ港口西ニ向フ東西十三町南北一里余深五仞乃至十六仞本邦五港ノ一ナリ

島原港 南部島半島ノ東北端ニアリ港口東南ニ向フ東西五町南北四町深サ二仞乃至九仞

佐世保港 東彼柳郡ニ在リ鯛浦ノ灣口ニ中ル近時海軍鎮守府ヲ此ニ設ケテ軍港トナス

名護屋港 松浦郡ニアリ東松浦半島ノ北端ニ位シ港口北ニ向フ東西五町南北十二町深七

仞乃至十一仞アリ

(九〇九) 鯛浦ノ位置如何

謂ク東西彼杵郡ノ中間ニアリ一ニ大村灣ト云フ東西二里二十丁南北四里半沿岸五十里ニ及ブ

(九一〇) 肥前ノ名勝ヲ問フ

謂ク原城址 南高來郡有馬村ノ高阜ニアリ東海ニ枕ミ西北水田ヲ帶フ頗ル天險ノ地ニシ

テ有馬氏ノ築ク所ナリ

(九一一) 肥前ヨリ壹岐對馬ニ航スル要津ヲ問フ

謂ク名護屋港是ナリ

(九一二) 肥後ノ郡名ヲ問フ

謂ク飽田、託麻、宇土、玉名、山鹿、山本、菊池、合志、阿蘇、上益城、下益城、八代、

葦北、球磨、天草ノ十五郡ナリ

(九一三) 熊本市ノ位置及戶口ヲ問フ

謂ク飽田郡ノ南ニ在リテ白河ノ北ニ瀕ス市坊三百八十、戶數一萬一千九百余、人口五萬二

千八百余アリ熊本縣廳及第六師管ノ本營所在地ナリ

(九一四) 肥後ノ名邑ヲ問フ

謂ク人吉(球磨郡) 高瀬(玉名郡) 長洲(玉名郡) 川尻(飽田郡) 隈府(宇土郡) 八代

(八代郡) 富岡(天草郡) 湯町(山鹿郡)

(九五) 阿蘇山ノ位置及其高サヲ問フ

謂ク肥後ノ東北部ニ在リテ本道ノ中央ニ位ス海面ヲ抜ク一六千二百五十尺最モ有名ナル噴火山ナリ

(九六) 肥後ノ名アル温泉ヲ問フ

謂ク山鹿、石村、平山、米塚、五頭寺、富尾、小天等數多アリ

(九七) 肥後ニ名アル河流ヲ問フ

謂ク大野川、菊地川、緑川、球摩川等ナリ

(九八) 肥後ニ名アル湖沼ヲ問フ

謂ク江津廣湖(周回一里余) 立岡池(周回一里)

(九九) 肥後ノ重ナル瀑布ヲ問フ

謂ク數鹿流瀑(阿蘇、合志ノ郡界ニアリ) 松水瀑(八代郡) 白水瀑(球摩郡)

(一〇〇) 肥後ノ海港ヲ列舉セヨ

謂ク瀬戸港、茂木港、口之津港、樺島、呼子、平戸、田助、河内、綱上、奈良島、玉浦等ナリ

(九二) 肥後ノ名勝ヲ問フ

謂ク隈部城址 菊地郡隈府ニアリ、熊本城飽田郡熊本市ニアリ

(九三) 日向ノ郡名ヲ問フ

謂ク宮崎、北那珂、南那珂、北諸縣、西諸縣、東諸縣、南諸縣、兒湯、東臼杵、西臼杵ノ十郡ナリ

(九四) 宮崎町ノ位置及戸口ヲ問フ

謂ク宮崎郡ノ東北端ニ在リ街衢大淀川ノ西岸ニ列リ東日向洋ニ臨ム、戸數三千人口一萬宮崎縣廳所在地ナリ

(九五) 日向ノ名邑ヲ問フ

謂ク都城(諸縣郡) 延岡(東臼杵郡) 細島(東臼杵郡) 美々津(兒湯郡) 高鍋(兒湯郡) 志布志(南諸縣郡) 廣瀬(那珂郡) 佐土原(那珂郡)

(九六) 日向ノ著名ナル山岳ヲ問フ

謂ク法華岳(高三千六百尺) 小松山(高四千余尺)

(九七) 日向ノ火山ヲ問フ

謂ク霧島山(高五千三百尺余) 永録年間噴火ス

(九二七) 日向ノ名アル瀑布ヲ問フ

謂ク布水瀑 兒湯郡布水山ニアリ高四十丈幅四間

(九二八) 日向ノ海港ヲ列擧セヨ

謂ク島ノ浦、東海、細島、美々津、油津外ノ浦是ナリ

(九二九) 志布志灣ノ位置如何

謂ク日向、大隅二州ノ間ニアリ一ニ有明ノ浦ト云フ灣口東西ニ向ヒテ日向ノ南端ヨリ大隅ノ東北海岸ニ亘リ日向ノ都井岬大隅ノ火崎ト相對シテ海門ヲ擁ス

(九三〇) 霧島山ハ何レニアリヤ

謂ク東西兩峯アリテ日向大隅ノ二州ニ跨リ東ヲ矛峯ト云ヒ西ヲ韓國岳ト云フ共ニ噴火山ナリ

(九三一) 高千穂ノ宮址ハ何レニアリヤ

謂ク日向ノ諸縣郡都城ニ在リ是レ天孫瓊々杵尊高千穂峰ニ降臨シ四世ノ間此ニ居玉ラ址ナリ或ハ霧島山ヲ以テ其宮址ナリトモ云フ

(九三二) 大隅ノ郡名ヲ問フ

謂ク菱刈、始良、桑原、西贈吹、肝付、南大隅、北大隅、熊毛、馭謨、大島ノ十郡ナリ

(九三三) 大隅ノ名邑ヲ問フ

謂ク加治木 (始羅郡) 國府 (贈吹郡) 福山 (贈吹郡) 内浦 (肝付郡) 佐多 (南大隅郡)

(九三四) 櫻島ノ周圍戸口ヲ問フ

謂ク鹿兒島灣北部ノ中央ニ位ス周圍十里東西二里二十四町南北二里戸數二千五百人口大凡一萬ナリ櫻島嶽中央ニ屹立ス高サ三千六百三十尺

(九三五) 大島ノ周圍戸口ヲ問フ

謂ク薩摩ノ極南開聞岬ノ西南七十八里ニ位ス周圍五十九里即チ大島郡ナリ戸數二萬人口十萬ニ下ラス

(九三六) 大隅ノ重ナル山岳ヲ示セ

謂ク高隈嶽 (大隅肝付ノ二郡界ニ跨ル) 垂水嶽、高隈嶽ノ東南ニ連ル其他白鹿山等アリ

(九三七) 大隅ノ重ナル温泉ヲ問フ

謂ク硫黃谷、福山宮ノ下、湯ノ尾、栗野嶽、大浪谷、銚投、關平等アリ

(九三八) 大隅ノ湖沼ヲ問フ

謂ク大浪池、桑原郡ニアリ周圍二里

(九三九) 大隅ノ海港ヲ問フ

謂ク内浦、大泊是ナリ

(九四〇) 大隅ノ岬角ヲ問フ

謂ク佐多岬、大隈郡ニアリ海上ニ突出スルヲ大約一里種子島ト遙カニ相望ム

(九四一) 薩摩ノ郡名ヲ問フ

謂ク鹿兒島、谷山、給黍、揖宿、類娃、川邊、日置、阿多、高城、南伊佐、薩摩、甌島、出水、北伊佐ノ十四郡ナリ

(九四二) 鹿兒島市ノ位置友戸口ヲ問フ

謂ク鹿兒島郡ノ南端ニ在リ鹿兒島灣ニ臨ム水ヲ隔テ、櫻島ト相對シ其間一大良港ヲナス戸數一萬二千五百余人口五萬七千四百余アリ鹿兒島縣廳所在ノ地ナリ

(九四三) 薩摩ノ名邑ヲ問フ

謂ク谷山(谷山郡) 揖宿(揖宿郡) 山川(揖宿郡) 鹿籠(川邊郡) 加世田(川邊郡) 川

内(薩摩郡) 宮之城(南伊佐郡) 出水(出水郡) 阿久根(出水郡)

(九四四) 薩摩ノ重ナル山嶽ヲ問フ

謂ク紫尾山、薩摩ノ北部ニアリテ出水、高城、伊佐ノ三郡ニ跨ル高四千八百尺國中第一ノ高嶺ナリ其他御嶽山、日笠山等アリ

(九四五) 薩摩ノ火山ヲ問フ

謂ク開闢山、薩摩ノ南端ニアリ一ニ海門嶽ト云フ今熄火セリ

(九四六) 薩摩ノ重ナル温泉ヲ問フ

謂ク湯ノ浦、金花、六反田、鰻、東道濱、三十六ノ前、三節、摺ノ濱、間水、二月田、清水谷等ナリ

(九四七) 薩摩ニ名アル湖沼ヲ問フ

謂ク池田湖、揖宿郡ニアリ周回四里二十九町本道第一ノ湖ナリ

(九四八) 薩摩ノ海港ヲ列擧セヨ

謂ク鹿兒島港、山川港、片浦港、坊津港、京泊港、阿久根港等ナリ

(九四九) 鹿兒島港ノ位置如何

謂ク鹿兒島郡ノ東ニ在リ東南ヨリ西北ニ亘ル長大約三丁西北幅十町深十三仞乃至二十仞本道南部ノ一大良港ナリ

(九五〇) 鹿兒島灣ノ位置如何

謂ク薩摩大隅ノ間ニアリ南北二十里東西三里乃至八里沿岸五十里大隅ノ佐多岬、薩摩ノ開闢岬ト相並ンテ西南ノ灣口ヲ扼ス

(九五二) 壹岐ノ郡名ヲ問フ

謂ク壹岐、石田ノ二郡ナリ

(九五三) 對馬ノ郡名ヲ問フ

謂ク上縣、下縣ノ二郡ナリ

(九五四) 壹岐ノ周回面積ヲ問フ

謂ク周回三十七里面積八方里

(九五五) 對馬ノ周回面積ヲ問フ

謂ク周回二百〇六里面積四十四方里

(九五六) 對馬第一ノ名邑及良港ヲ問フ

謂ク島中ノ名邑ヲ嚴原ト云ヒ第一ノ良港ヲ大口ト云フ

(九五七) 琉球ノ分割如何

謂ク全島ヲ二分シテ東北ニ在ルヲ沖繩群島ト云ヒ西南ニ在ルヲ八重山群島ト稱ス而シテ現今ハ行政上ニ縣四十三間切(内地ノ線ノ如シ)トス

(九五八) 沖繩島ノ位置ヲ問フ

謂ク薩摩ノ開聞岬南ノ西百三十六里ニ在リテ大隅ノ與論島ト相望ム其延長百二十七里東

西一里乃至十里南北十里周回七十四里

(九五九) 那霸ノ位置及戶口ヲ問フ

謂ク本島ノ西南端ニ在リ戶數九千一百余、人口四萬零二百余、沖繩縣廳所在ノ地ニシテ島中第一樞要ノ都府ナリ

(九六〇) 琉球ノ名邑ヲ問フ

謂ク首里、久米、泊、共ニ有名ノ所ナリ

(九六一) 琉球ノ重ナル物産ヲ示セ

謂ク牛、馬、魚貝類、琉球纒、上布、芭蕉布、紙、漆器、竹、琉球泡盛等ナリ

(九六二) 琉球ニ名アル山河ヲ問フ

謂ク島内ノ山河皆細小ナリ其最高キ山ヲ佳楚嶽トス一ニ宇勝嶽ト云フ高一千五百五十尺余其他恩納、名護、國頭等ノ諸峰アラハ河流ハ諸峰ノ間ニ國場、安里、安謝勢、理客茂呂木、天願、安波ノ諸川トス延長共ニ二里ニ過キス

第十一篇 北海道

(九六三) 北海道ノ位置及境域ヲ問フ

謂ク北海道ハ本州ノ最北部ニアリテ蝦夷島ト稱シ千島群島ヲ併屬ス北ハ北見ノ宗谷海峽

ヲ隔テ、露領樺太ニ接近シ南ハ津輕海峽ヲ隔テ、東山道ノ陸奥ニ向ヒ其島端ハ千島海峽ヲ隔テ、露領勘察加ニ對ス

最南ニ渡島アリ東ト北ニハ膽振、後志アリ東南ニハ日高、十勝、釧路、根室ノ四國列リ西北ニハ石狩、天鹽、北見ノ三國アリ

(九三) 北海道ノ經緯度ヲ示セ

謂ク經度ハ百四十六度〇七分ヨリ百三十九度十一分ニ至リ緯度ハ四十一度二十一分ヨリ四十五度三十分ニ盡ク

(九四) 北海道ノ延長幅員及面積人口ヲ問フ

謂ク東西凡百六十六里南北凡百二十里其面積六千九百十八方里(千嶋ヲ合セ)人口二十三萬ヲ有ス

(九五) 北海道ハ地勢上及行政上幾區劃トナスマ

謂ク天然ノ地勢ニ從テ全道十一國二區八十八郡ニ分チ又行政上石狩ノ札幌區ニ北海道廳ヲ置キ函館根室ニ出張所ヲ置ク

(九六) 北海道ノ地勢ヲ問フ

謂ク全道ノ西南部ハ内部ニ長嶺横ハリ山勢峻嶮ヲ呈ス中部ハ東境ニ大嶺アリテ支山西ニ

出ツルヲ以テ地勢又西ニ傾ク東南部ハ中部ニ隣レル所ニ大嶺ヲ負フテ以テ川流ハ東南ニ向ツテ流ル其北部ハ中央ニ長嶺アルヲ以テ二區ニ分レ天鹽ノ川流ハ西北ニ注キ北見ハ東北ニ流ル全道ノ形勢恰カモ鷲鷲ノ西南ニ向テ飛フニ似タリ

(九七) 北海道ノ著名ナル山嶽ヲ問フ

謂ク渡島ニ遊樂部岳、駒ヶ岳、千軒岳アリ膽振ニ有珠岳、昆保岳、白老山アリ後志ニ後方羊蹄山、大平岳、雷電山アリ日高ニ樂古山、神威山アリ釧路ニ雄阿寒岳アリ根室ニ斜里岳、硫黃岳アリ石狩ニ夕張岳、石狩岳アリ天鹽ニ羽幌山アリ北見ニ宗谷嶽アリ

(九八) 北海道ノ著名ナル江河ヲ問フ

謂ク石狩ニ石狩川アリ天鹽ニ天鹽川アリ十勝ニ十勝川アリ釧路ニ久壽里川クムリアリ後志ニ西別川アリ是ヲ本道ノ五大河ト云フ

(九九) 北海道ノ著名ナル湖沼ヲ問フ

謂ク膽振ノ洞爺湖、支笏湖、根室ノ楓連沼、釧路ノ阿寒湖、摩周沼、北見ノ猿摩湖、網走沼、十勝ノ喜門沼等ナリ

(一〇〇) 北海道沿海ノ重ナル海灣ヲ問フ

謂ク渡島ノ渡島灣、火山灣、根室ノ根室灣、釧路ノ厚岸灣、膽振ノ内浦灣、後志ノ小樽灣等ナリ

(九七二) 北海道沿海ノ重ナル海峡ヲ示セ

謂ク北見ノ宗谷海峡、根室ノ根室海峡(津輕海峡)等ナリ

(九七三) 同ク重ナル岬角ヲ示セ

謂ク襟裳岬、惠山岬、白神岬、繪鞆岬、納沙布崎、知床崎、野付岬、宗谷岬、神威岬、仙鳳路岬、白糸岬等ナリ

(九七四) 北海道附屬ノ重ナル島嶼ヲ問フ

謂ク大島、寶島、奥尻島、天爪島、水昌島、利尻島、中國、後擇捉色丹、得撫、新知、捨古丹、幌筵ノ諸島ナリ

(九七五) 北海道ノ重ナル港ヲ示セ

謂ク渡島ノ箱館港、江刺港、福山港後志ノ壽都港、小樽港膽振ノ有珠港、室蘭港(軍港)石狩ノ石狩港天鹽ノ増毛港日高ノ幌泉港釧路ノ釧路港、厚岸港根室ノ根室港北見ノ宗谷港、網走港等ナリ

(九七六) 北海道ノ著名ナル都會ノ名稱及人口ヲ示セ

謂ク石狩ノ札幌(人口一万六千) 渡島ノ函館(人口五万二千) 根室ノ根室(人口六千五百)ナリ

(九七七) 同ク著名ナル名邑ヲ示セ

謂ク渡島ノ福山(人口一万二千) 同ク江差(人口一万二千) 後志ノ小樽(人口一万二千) 膽振ノ室蘭等ナリ

(九七八) 北海道ノ重ナル物産ヲ問フ

謂ク鮭、鱒、鱈、比目魚、鰻、青魚、鱒、昆布、臘腸、臘虎、鯨魚、海鼠、硫黃、石炭、砂金、鐵、檜、樺、落葉松、熊、鹿、狐、水豹等ナリ

(九七九) 北海道ニ於テ栽培シ得ヘキ穀菜ハ何ソヤ

謂ク通常人間必須ノ穀菜ハ大抵差支ナキナリ其中重ナル作物ハ小麥、大麥、大豆、小豆、玉蜀黍、黍麥、馬鈴薯、等ニシテ之ニ次クモノハ米、粟、菜種、鹽等ナリ近來ハ大麻、亞麻、甜菜等ヲモ耕作ス

(九八〇) 北海道ニ日本第一ノ大河アリ其名稱ヲ示セ

謂ク石狩ノ石狩川是ナリ其源ハ石狩、十勝ノ兩岳間ヨリ發シ長流百六十七里河幅四百間ニ及フ土人之チ西ノ父川ト云フ

(九八一) 北海道ニ日本第一ノ良港アリ其名稱ヲ示セ

謂ク渡島ノ箱館港是ナリ港内水深ク四時風濤ノ憂ナク出入共ニ便利ヲ得ズ

(九八二) 北海道ノ氣候ヲ問フ

謂ク土地廣茫ナルユヘ氣候一定セス西南及東南部ハ温和ナレト西北及東北部ハ嚴寒ナリ
冬期ニ至レハ寒暖計零度以上二三十度ニ下ルヲアリ然レト實際ニ於テハ格別甚シク感ス
ルモノニアラス夏期ハ何處ニテモ十分農業ヲ營ムヲ得積雪モ通常四五尺ニ過キサルヲ以
テ職業ヲ妨グル如キコトナシ

(九八三) 千島ノ經緯度ヲ示セ

謂ク經度ハ百五十六度三十三分ヨリ百四十五度三十一分ニ至ル緯度ハ四十三度三十八分
南ハ五十度五十六分ニ至ル

(九八四) 千島ノ位置ヲ問フ

謂ク東北極界ニ並列セル群島ニシテ總計三十二島アリ太平洋ト阿哥斯科海ノ間ヲ限リテ
境界ヲナス

(九八五) 千島ノ周圍面積ヲ示セ

謂ク周圍ハ六百十三里面積ハ一千〇三十三方里ナリ

(九八六) 渡島ノ郡區名稱ヲ示セ

謂ク函館區、龜田、上磯、茅部、松前、檜山、爾志ノ一區六郡ナリ

(九八七) 後志ノ郡名ヲ示セ

謂ク久遠、奥尻、太櫓、瀬棚、壽都、島牧、磯谷、歌棄、岩内、古宇、古平、美國、積丹、
余市、忍路、高島、小樽ノ十七郡ナリ

(九八八) 石狩ノ郡區名稱ヲ示セ

謂ク札幌區、札幌、上川、樺戸、雨龍、空知、夕張、石狩、厚田、濱益ノ一區九郡ナリ

(九八九) 天鹽ノ郡名ヲ示セ

謂ク中川、上川、天鹽、苫前、留萌、増毛ノ六郡ナリ

(九九〇) 釧路ノ郡名ヲ示セ

謂ク山越、虻田、有珠、室蘭、幌別、白老、勇拂、千歳ノ八郡ナリ

(九九一) 日高ノ郡名ヲ示セ

謂ク沙流、新冠、靜田、三石、浦河、様似、幌泉ノ七郡ナリ

(九九二) 十勝ノ郡名ヲ示セ

謂ク廣尾、當縁、十勝、中川、河西、河東、上川ノ七郡ナリ

(九九三) 釧路ノ郡名ヲ示セ

謂ク足寄、川上、阿寒、白糠、釧路、厚岸ノ六郡ナリ

(九九三) 根室ノ郡名ヲ示セ

謂ク根室、花咲、野付、標津、目梨ノ五郡ナリ

(九九四) 北見ノ郡名ヲ示セ

謂ク斜里、網走、常呂、紋別、枝幸、宗谷、禮文、利尻ノ八郡ナリ

(九九五) 千島ノ郡名ヲ示セ

謂ク色丹、國後、擇捉、振別、紗那、葉取、得撫、新知、占守ノ九郡ナリ

(九九六) 北海道ノ地味ハ如何

謂ク全道山嶽ヲ以テ蔽フモ沿川沿海ノ地ハ曠茫タル原野甚々多ク就中石狩十勝ニアルノ平野ハ地味豊沃ナルヲ以テ漸々開墾ニ從事ス

(九九七) 北海道ニ於ケル火山鑛山ヲ示セ

謂ク火山ニハ渡島ノ駒ヶ岳、惠山、大川嶽膽振ヲ有珠嶽釧路ノ雌峯、雄峯アリ鑛山ニハ渡島ノ惠山、膽振ノニセコアンベツ其他北見千島ニアリ尤モ硫黃、石炭ノ二種ナリ

(九九八) 北海道ニ於ケル重ナル瀑布ヲ示セ

謂ク石狩ノ石狩瀨釧路ノ阿寒瀑及ヒ千島擇捉島ノ刺鬼別瀑トス

(九九九) 北海道ニ於ケル重ナル温泉ヲ示セ

謂ク渡島ノ惠山湯、河汲湯膽振ノ登別湯其他ハ僻地ナルヲ以テ著ハレズ

(一〇〇〇) 北海道屯田兵配置ノ地及人員ヲ示セ

第一大隊 第一中隊 (札幌郡琴似村) 人員一千百九十六人
同 郡發寒村 同 百九十八人

第二大隊 第二中隊 同郡山鼻村 同 一千二百五十四人

第三中隊 同郡琴似村 同 一千〇三十一人

第三大隊 第一中隊 (札幌郡江別村) 同 九百三十六人
第二中隊 札幌郡江別村 同 一千百七十八人

第三中隊 (石狩郡篠津村) 同 二百八十四人

室蘭 中隊 室蘭郡輪西村 同 四百八十八人

(已上明治二十一年現在)

(一〇〇一) 北海道ノ驛路ヲ問フ

謂ク札幌ノ元標ヨリ三府四港近縣ヘノ里程左ノ如シ

東京ヘ 三百十八里 京都ヘ 四百四十九里

大阪ヘ 四百六十二里 横濱ヘ 三百二十六里

神戶へ 四百七十二里 長崎へ 六百六十四里
 新潟へ 二百五十里 福島へ 二百四十三里
 宮城へ 二百四十五里 青森へ 百二十六里
 岩手へ 百七十八里 秋田へ 百七十八里
 (1003) 渡島ノ人口ヲ問フ
 謂ク十二萬六千六百六十四人、土人二百十八
 (1003) 渡島ノ三大港ヲ示セ
 謂ク箱館、江差、松前ノ三港ナリ
 (1004) 後志ノ人口ヲ問フ
 謂ク五萬六千五百九十五人、土人七百三十五人
 (1005) 石狩ノ人口ヲ問フ
 謂ク三萬七千四百〇七人、土人八百九十三人
 (1006) 天鹽ノ人口ヲ問フ
 謂ク五千二百七十六人、土人三百人
 (1007) 北見ノ人口ヲ問フ

謂ク三千二百〇一人、土人一千八百八十一人
 (1008) 釧路ノ人口ヲ問フ
 謂ク一萬四千七百十人、土人三千七百五十三人
 (1009) 日高ノ人口ヲ問フ
 謂ク一萬一千二百八十九人、土人五千七百九十五人
 (1010) 十勝ノ人口ヲ問フ
 謂ク二千〇五十五人、土人二千五百〇七人
 (1011) 釧路ノ人口ヲ問フ
 謂ク五千二百二十人、土人一千六百十八人
 (1012) 根室ノ人口ヲ問フ
 謂ク七千二百二十四人、土人四百六十四人
 (1013) 千島ノ人口ヲ問フ
 謂ク七百二十八人、土人五百〇六人
 (1014) 後志第一ノ都會ヲ示セ
 (明治二十二年調土人
 々員明治二十年調)
 謂ク國中第一ノ都會ハ小樽ナリ海灣水底深ク舟泊ノ利最モ便アリ

(一〇一五) 小樽ニ次クノ良港ヲ示セ

謂ク増毛港トズ天鹽ノ南隅ニアリ

(一〇一六) 宗谷ノ七汐トハ如何

謂ク北見ノ志留志崎ト樺太ノ白主崎ト相對シテ海峽ヲ狹△其間十里七條ノ潮路アリ東ニ流ル之ヲ七汐ト云フ

(一〇一七) 北見富士トハ如何

謂ク北見ノ海上ナル利尻崎ノ島峯ヲ云フ其形富士山ニ似タルヲ以テ此名アリ

(一〇一八) 北海道東岸第一ノ良港ヲ問フ

謂ク膽振ノ室蘭港ナリ良港ニシテ深サ九十仞アリ

(一〇一九) 北海道ニ於ケル燈臺ノ所在地ヲ示セ

謂ク函館港辨天岬ニ高サ三丈六尺ノ燈船アリ白光ニシテ十海里ヲ照ス次ニ小樽港ニ高サ一丈七尺五寸ノ燈臺アリ次ニ根室港内辨天島ニ高サ七丈五尺ノ燈臺アリ赤光ニシテ七海里ヲ照ス

(一〇二〇) 北海道中最モ氣候温暖ノ地ヲ示セ

謂ク日高國ハ正面大洋ヲ受ケ全道ニ於テ氣候殊ニ温暖ナル地ナリ

(一〇二一) 土人種族ノ始地ナル處ヲ示セ

謂ク日高國ヲ以テ土人種族ノ始地トス而シテ沙流郡最モ古代ノ風俗ヲ存ス

(一〇二二) 北海道ニ於ケル第一ノ大島ヲ舉ケ其周圍ヲ示セ

謂ク千島ノ擇捉島トス其周圍二百八十里アリ

(一〇二三) 義經ノ廟社ハ何處ニアルヤ

謂ク日高國沙流郡沙流川ノ河源ニアリ土人義經ナル語ヲうきくるみト呼フ

(一〇二四) 本道ノ沿革變遷ヲ問フ

謂ク本道ハ往昔久シク王土ニ屬セス景行天皇二十五年武内宿禰勅ヲ奉シテ此地ヲ巡察ス其後土人ノ叛服常ナキヲ以テ日本武尊之ヲ鎮定シ玉フ齋明天皇ノ時阿部比羅夫ニ勅シ討平セシム内地多事ナルニ乘シ渡島津輕以下奥羽越後ノ蝦夷再ヒ叛亂シ坂上田村麻呂文屋錦麻呂等前後之ヲ征シ竟ニ其巢窟ヲ攘ヒ本州悉ク平治ス是ヨリ蝦夷等本道ニ退居シ蝦夷地ト云フ享徳年間若狹ノ人武田信賢松前ニ航ス其子孫福山ニ居ル露人屢々移住セントスルヲ以テ函館奉行ヲ置ク文久二年使ヲ遣ハシ樺太ノ境界ヲ議ス露人已ニ全島ニ居留シ我議ヲ肯ンセス後内國ノ多事ナルニ紛レ數年經過ス露人薩加連ヲ開柘ス大ニ驚キ之ヲ詰リ後我雜居地トス明治元年榎本武揚等函館五稜廓ニ據リ佐幕ノ兵ヲ擧ク軍敗レテ歸順ス後

ヲ開拓使ヲ置キ北海道ト改メ又露國ト議シ樺太ヲ得撫ヨリ東北ノ群島ト交換シ千島ニ屬
 ス明治十五年開拓使ヲ廢シ函館、札幌、根室ノ三縣ヲ置キ全道ヲ分轄セシモ十九年ニ至
 リテ之ヲ併セ北海道廳ト改メ支廳ヲ舊縣地ニ分設ス尋テ支廳ヲ廢シテ出張所ヲ函館ニ置
 ヲ

(一〇三) 北海道士人ノ言語ハ如何

謂ク本道士人ノ間ニハ古來文事ナキヲ以テ歷世口碑ヲ以テ相傳フノミ其言語ハ頗ル寬縱
 ニシテ去聲多ク且ツ方言一ナラス殆ント不定音ナリ

(一〇四) 北海道士人ノ人種ハ如何

謂ク其種類ヲ分テ三トス日本、ヤマト唐子、カラコ渡黨ニシテ日本ハ蝦夷本島ノ人種ニ屬シ即チアイ
 スナルモノナリ唐子ハ外國雜種ノ移住セシモノナリ渡黨ハ昔文治五年源賴朝與州ヲ征セ
 シ時泰衡ニ屬セシモノ多ク蝦夷ニ透ル之ヲ渡黨ノ始メトス

附錄 地理要義問答

內山正如編述

(一) 地理學トハ如何ナルモノナルヤ

謂ク吾人々類カ生活スル地球全體ノ有様ヲ研窮スルモノヲ地理學ト云フ

(二) 地球トハ如何ナルモノナルヤ

謂ク地球ハ一個ノ遊星ニシテ太陽ヲ回リテ旋轉スル所ノ諸體ノ一ナリ

(三) 其形體ハ如何

謂ク地球ノ形體ハ殆ント圓ニシテ橙實ノ觀アリ

(四) 旋轉トハ如何

謂ク太陽ノ周圍ヲ一週スルモノニテ其一週ニハ三百六十五日ヲ費ヤセリ

(五) 地球ノ廣大ナルコト幾何ナルヤ

謂ク其周圍ハ殆ント二萬五千英里ニシテ直徑ハ殆ント八千英里ナリ

(六) 其運行ノ法ハ如何

謂ク地球ニハ二様ノ運行方法アリ一ハ前ニ答ヘシ如ク三百六十五日間ニ太陽ヲ一周ス其

運轉ハ平均太陽ヲ距ルテ九千三百萬英里ニシテ之ヲ年々運行ノ法トナシ一ハ二十四時間即チ一日ノ間ニ其地軸ヲ一回轉ス之ヲ日々運行ノ法トス

(七) 地球ノ表面ハ何ヲ以テ成立スルヤ

謂ク陸地ト海水トヲ以テ成ルモノナリ而シテ海水ハ殆ント全面ノ四分ノ三ヲ占有シ陸地ハ唯其分ヲ占ムルニ過キス

(八) 地球ノ全面積ハ如何

謂ク面積ノ總計ハ一億九千七百一萬方英里ナリ

(九) 陸地ニ屬スル面積ハ如何

謂ク陸地ハ四分一強ニシテ五千五百五十方英里ニ過キス

(一〇) 水面ニ屬スル面積ハ如何

謂ク水面ハ全地球ノ面積ノ中四分三弱ヲ有シ大凡一億四千五百五十方英里アリ

(一一) 便利上地球ヲ分ツノ方法如何

謂ク赤道ヲ境トシテ南北ノ兩半球ニ分チ子午線ヲ境トシテ東西ノ兩半球ニ分ツモノナリ

(一二) 北半球ノ水陸ノ割合如何

謂ク北半球ニアリテハ陸地ハ三千八百萬方英里水面ハ六千〇五十萬方英里ノ割合ナリ

(一三) 南半球ノ水陸ノ割合如何

謂ク陸地ハ一千三百五十萬方英里水面ハ八千五百萬方英里ノ割合ナリ故ニ北半球ヨリ陸地ノ多キヲ殆ント三倍ナリ

(一四) 東西兩半球トシテ見ルルハ如何

謂ク東半球ノ陸地ハ三千七百萬方英里アリ西半球ノ陸地ハ一千四百五十萬方英里アリ他ハ皆ナ水面ナリ

(一五) 地球ヲ五氣帶ニ分テハ其水陸ノ割合ハ如何

謂ク北寒帶ニ於テハ陸地其三分ノ一ヲ占メ北温帶ニテハ二分ノ一ヲ占メ熱帶ニ於テハ同シク二分ノ一ヲ占メ而シテ南温帶ニ在テハ僅カニ其十分ノ一ヲ占メ他ハ皆水ヲ以テ蔽ハル

(一六) 地球上ノ陸ノ大別如何

謂ク地球ハ東半球(則チ舊世界) 西半球(則チ新世界)ノ二ニ大別ス而シテ又東半球ハ二大陸ニ分テ一ヲ亞弗利加一ヲ亞細亞及ヒ歐羅巴トス又西半球ハ南北亞米利加ノ二大陸ニ分ツチ得

(一七) 東大陸ノ四方ノ極端如何

謂ク西經十七度三十分ニ於ケル亞弗利加ノウハデ岬ヲ西ノ極端トシ西經百七十度六分ニ在ル西比利亞ノイースト岬ハベールンク海峡ニ接シテ其東ノ極端タリ又北ハ北緯七十八度ノ亞細亞ノサーゲイロ岬ニ至リ南ハ南緯三十四度五十一分ノ亞弗利加ノアガルハス岬ニ至リテ尽ク

(二八) 西大陸ノ四方ノ極端ハ如何

謂ク其最端ハ西經百六十八度ニ當レルウチーリスノプリンス岬ニシテベールンク海峡ニ接スル所ナリ其東端ハ西經三十四度四十八分ニ當レルブラツイルノプランコ岬トス而シテ又其南北兩端ハ南緯五十三度五十三分ノマシイルラン海峡ニ在ルフロワート岬ヨリ北緯七十二度ノメルロット海峡ニ及ブモノナリ

(二九) 地球上水陸高低ノ度ハ如何

謂ク平均大洋ノ深サハ殆ント一萬二千英尺ニシテ平均陸ノ高サハ殆ント一千五百英尺ナリ

(三〇) 空氣トハ何ソヤ

謂ク空氣トハ主トシテ酸素及ヒ窒素ノ二氣ヨリ成ルモノニシテ地球ノ周圍ニ充滿スルモノナリ

(三一) 大陸トハ何ソヤ

謂ク大陸トハ大洋ヨリ隆昂スル陸地ノ大ナル集合體ニシテ東大陸西大陸ト稱スルモノ則チ是ナリ

(三二) 國トハ何ソヤ

謂ク人民ノ住スル大陸ノ部分即チ國土ニシテ大日本帝國支那英吉利等ノ如キ是ナリ

(三三) 山嶽トハ何ソヤ

謂ク山嶽トハ周圍ノ陸地ノ上ニ高峻凸起スル土地ヲ云フ

(三四) 丘トハ何ソヤ

謂ク高地ナレトモ山嶽ノ如ク高カラサルモノヲ云フ

(三五) 山脈トハ何ソヤ

謂ク山カ長キ線ヲナシ蜿蜒トシテ國ヲ横斷スルモノヲ都テ山脈ト云フ

(三六) 群山トハ何ソヤ

謂ク諸山群ヲ成シ相重ナルヲ群山ト云フ

(三七) 谷トハ何ソヤ

謂ク山或ハ丘ト丘トノ間ニ横ハル低地ヲ云フ

- (二八) 火山トハ何ソヤ
謂ク烟火焰燒石硫黃等ヲ噴出スル山嶽ヲ云フ
- (二九) 平原トハ何ソヤ
謂ク海面ヨリ高カラサル所ニ平坦ナル地アルヲ云フ
- (三〇) 高原トハ何ソヤ
謂ク海面ヨリ高ク横ハレル平陸ヲ云フ
- (三一) 川トハ何ソヤ
謂ク陸地ヨリ漉滴スル淡水ノ流則チ是ナリ
- (三二) 川源トハ何ソヤ
謂ク河水ノ其流ヲ發スル所ヲ云フ
- (三三) 河底トハ何ソヤ
謂ク河水ノ流ルル床地ヲ云フ
- (三四) 河岸トハ何ソヤ
謂ク河ノ兩側ノ地則チ其間ニ河水ノ流ルル所ヲ云フ
- (三五) 右岸トハ何ソヤ

- 謂ク河ノ注口ニ向ヒ又ハ水ノ流ルル方位ヲ眺ムル人ノ右手ニ在ルノ地ヲ云フ
- (三六) 左岸トハ何ソヤ
謂ク河ノ注口ニ向フ人ノ左ノ手ニ在ルノ地ヲ云フ
- (三七) 急流トハ何ソヤ
謂ク急流トハ河底ノ岩石若クハ土地ノ隆起スルガ爲メニ急速ニ流下スルモノヲ云フ
- (三八) 會流合流トハ何ソヤ
謂ク河ニ向テ注進スル小流ヲ會流ト云ヒ小流カ本流ニ會注スル場所ヲ合流ト云フ
- (三九) 瀑布トハ何ソヤ
謂ク瀑布トハ岩上高所ヨリ低所ニ水ノ落下スルモノヲ云フ
- (四〇) 三稜洲トハ何ソヤ
謂ク河口ノ間ニ横ハレル砂地ヲ云フ
- (四一) 河口トハ何ソヤ
謂ク河流ノ海面ニ朝スル場所ヲ云フ
- (四二) 小灣トハ何ソヤ
謂ク宏濶ナル河口ニシテ潮流ノ進退スル場所ヲ云フ

- (四三) 河濱トハ何ソヤ
謂ク河ニ瀕スル陸地チ云フ
- (四四) 分水界トハ何ソヤ
謂ク一ノ水流ノ河濱チ他ノ水流ノ河濱ヨリ分ツ場所チ云フ
- (四五) 湖水トハ何ソヤ
謂ク四面陸地ニ圍繞セラレ、淡水ノ体チ云フ
- (四六) 海岸トハ何ソヤ
謂ク海ニ接近スル陸地ニシテ潮水ノ干満スル所チ云フ
- (四七) 海角トハ何ソヤ
謂ク海角トハ海面ニ突出スル陸地チ云フ
- (四八) 高岬トハ何ソヤ
謂ク突兀タル巖角ノ海中ニ突出シタルモノチ云フ
- (四九) 島嶼トハ何ソヤ
謂ク島嶼トハ四方水チ以テ圍繞サレタル陸地ノ一片チ云フ
- (五〇) 半島トハ何ソヤ

- 謂ク三方水チ以テ圍マレ唯一方ノミ陸地ニ接續スル島地チ云フ
- (五一) 地峽トハ何ソヤ
謂ク一ノ陸地ト他ノ陸地トニ通スル狹隘ナル陸地ニシテ他ノ水面ト一ノ水面トチ分離スル濱地チ云フ
- (五二) 海峡トハ何ソヤ
謂ク水ノ廣大ナル部分ニ連續シ而シテ二箇ノ陸地チ分離スル狹隘ナル水面チ云フ
- (五三) 曲海トハ何ソヤ
謂ク曲海トハ海峡ノ廣キモノチ云フ
- (五四) 曲江トハ何ソヤ
謂ク曲江トハ海ノ深ク陸地ニ入ラサル陸地ノ口チ云フ
- (五五) 灣トハ何ソヤ
謂ク海ノ長ク陸地ニ入りタル所チ云フ東京灣大坂灣ノ如キ是ナリ
- (五六) 碇泊所トハ何ソヤ
謂ク碇泊所トハ海岸ニ近ク且ツ砂堤ニ圍マレタル海ノ一部分ニシテ船舶ノ安全ニ寄泊シ得ル所チ云フ

(五) 港トハ何ソヤ

謂ク海ニ接近スル都會ニシテ船舶カ其貨物ヲ積卸シスル所ヲ云フ

(五) 潮流トハ何ソヤ

謂ク潮流トハ海面一定ノ方向ニ於テ流走スル一帯水ヲ云フ

(五) 都會トハ何ソヤ

謂ク建物ノ大ナル集合所ニシテ許多ノ人民其中ニ住居シ且ツ市場ノ設ケアル土地ヲ云フ

(六〇) 市府トハ何ソヤ

謂ク都會ニ次テ繁盛ヲ爲ス土地ヲ云フ

(六一) 村落トハ何ソヤ

謂ク市府ニ次テ人民ノ集合スル土地ヲ云フ

(六二) 小村トハ何ソヤ

謂ク小村落ニシテ僅少ナル人民ノ住居スル土地ヲ云フ

(六三) 地極トハ何ソヤ

謂ク地球ノ兩端稍々平匾ナル所之ヲ地極ト云フ而シテ其北ニアルモノヲ北極ト云ヒ南ニアルモノヲ南極ト云フ

(六四) 地軸トハ何ソヤ

謂ク地球ノ中心ヲ通シテ兩極ヲ結ブ所ノ線之ヲ地軸ト云ヒ地球ハ二十四時間ニ地軸ヲ一回轉スルモノナリ

(六五) 赤道トハ何ソヤ

謂ク北極ヨリスルモ南極ヨリスルモ同距離ノ中心ニ引カレタル線之ヲ赤道ト云フ赤道ハ一ノ環ナリ而シテ地球ノ表面ヲ北半球南半球ノ二箇ノ平等ナル半球ニ分ツ所ノ線ナリ

(六六) 緯度トハ何ソヤ

謂ク赤道ト平行シテ世界ヲ回過スル線之ヲ緯線ト稱シ一線ヲ一度トナシ赤道ヨリ北極ニ至ルマテ九十度ニ分ツ之ヲ北緯ト云フ南緯モ亦同シク赤道ヨリ起算シ南極ニ至ルマテ九十度アリ而シテ又一度ヲ分テ六十分トナシ一分ヲ六十「セコンド」トナス

(六七) 緯度ノ數ハ幾何ソヤ

謂ク總計三百六十度アリ即チ東半球ノ南北緯度合シテ百八十度西半球ニモ又百八十度アルナリ

(六八) 經度トハ何ソヤ

謂ク赤道ヲ直角ニ切斷シ南北兩極ニ引クノ線之ヲ經線ト云フ經線ハ緯線ト同一ノ方ニ於

テ三百六十度アリ而シテ緯度ハ一度ノ間何レニアルモ皆六十九英里ナレトモ經度ハ赤道ニ於テコソ一度ノ間六十九半英里ナレド南北兩極ニ近ヨルニ從テ狹アリ終ニ一度間一ヤードニ足ラサルニ至ルナリ

(六九) 氣帶トハ何ソヤ

謂ク北緯二十三度二十八分ニ特ニ一線ヲ引キ之ヲ冬至線ト名ケ又南緯二十三度二十八分ニ特ニ一線ヲ引キ之ヲ夏至線ト名ク又更ニ北緯六十六度三十二分ニ一線ヲ引キ北極圈ト稱シ又南緯六十六度三十二度ニ一線ヲ引キ南極圈ト稱ス此二至線ニ極圈ハ地球ノ表面ヲ五氣ニ帶分ツ

(七〇) 五氣帶トハ何ソヤ

謂ク則チ北寒帶、北溫帶、熱帶、南溫帶、南寒帶ノ五氣帶ナリ

(七一) 熱帶トハ何ソヤ

謂ク太陽ハ地球ノ間ニ在ル地ノ眞上ヲ通過スル故ニ非常ニ炎熱ナリ之ヲ熱帶地方ト云フ

(七二) 寒帶トハ何ソヤ

謂ク此ノ氣帶ノ中ニアリテハ冬ハ太陽全ク地平線ノ下ニアルヲ數日及ヒ夏ト雖モ僅カニ地平線ノ上ニ昇ルノミ故ニ北極地方ハ常ニ冰雪嚴烈ニシテ南極地方モ 同一ナリ此兩極

地方ヲ稱シテ寒帶ト云フ

(七三) 溫熱トハ何ソヤ

謂ク北溫帶南溫帶ノ都テノ溫暖ナル地方ヲ溫帶ト云フ尤モ北溫帶モ北極圈ニ近キ國ハ氣候殆ント寒帶ニテ又南溫帶ニ於テモ同ク北方ニ趣クニ從テ溫熱ニ南方寒帶ニ近ツクニ從テ返寒ナレト此等皆ヲ溫帶ニ總括シテ云フナリ

(七四) 四大洲トハ何ソヤ

謂ク地球ヲ大別シテ歐羅巴、亞細亞、亞弗利加、及ヒ亞米利加トシ之ヲ世界ノ四大洲ト云フ

(七五) 大洋ノ分界ハ如何

謂ク大洋ノ分界ハ素ト人爲ノ劃線ヲ以テ分チ偏ヘニ經緯ノ度ニ依リシモノニシテ毫モ天然境界ニ依テ分レタルニアラス故ニ緻密ナル區劃ハ到底ナシ能ハス唯大体ニ於テ之ヲ定ムルノミ

(七六) 重ナル大洋ノ名稱ヲ舉ケヨ

謂ク第一大西洋、第二太平洋、第三印度洋、第四南氷洋、第五北氷洋ナリ之ヲ五大洋ト云フ

(七) 北半球ト南半球ノ氣候ノ差ハ如何

謂ク兩半球ハ南北ニ分レテ同距離ニアルモノナレハ南緯四十五度ノ氣候ハ北緯四十五度ノ氣候ト同一ナラサルヘカラス

(八) 世界ノ人種及其名稱ハ如何

謂ク地球上ノ人種ヲ大別シテ六トス曰ク高加索人種、蒙古人種、亞米利加人種、黑人種、馬來人種、澳太刺利亞人種是レナリ

(九) 此等人種ノ住所ハ如何

謂ク高加索人種ハ歐羅巴、亞弗利加ノ北部及亞細亞ノ南、西印度、ニ至ルマテノ間ニ住ス蒙古人種ハ北方亞細亞、中央亞細亞、東方亞細亞、及最北亞米利加等ニ住ス亞米利加人種ハ最北ノ部分ヲ除キ亞米利加全州ニ住ス黑人種ハ亞弗利加熱帶地方ニ散布ス馬來人種ハ東南亞細亞、馬來、マダカスカル及ヒ太平洋諸島ノ一部ニ住ス澳太刺利亞人種ハ澳太刺利亞及其近海諸島ニ住スルモノナリ

(一〇) 四大洲ノ身長ハ如何

謂ク東大陸ノ歐羅巴及ヒ亞細亞ハ東ヨリ西ニ廣ガリ其地軸ノ大ナル部分ハ赤道ト平行シテ横ハリ及亞弗利加及ヒ西大陸亞米利加ハ北ヨリ南ニ並伸シタル國ナリ

(一一) 各大陸ノ氣帶ハ如何

謂ク亞弗利加、南亞米利加ノ大部分澳太刺利亞ノ半部及ヒ亞細亞、北亞米利加ノ小部分ハ熱帶ニ在ク南亞米利加ノ三分ノ一澳太刺利亞ノ半部及ヒ亞弗利加ノ小部分ハ南溫帶ニアリグリエッタンドノ大部分及ヒ北亞米利加、歐羅巴、亞細亞ノ小部分ハ北寒帶ニ在リ北亞米利加、歐羅巴、亞細亞ノ大部分及ヒ亞弗利加ノ殆ント四分ノ一ハ北溫帶ニ在ルナリ

(一二) 大西洋ノ廣袤及ヒ面積幾何ソヤ

謂ク大西洋ハ東大陸ノ西ニ在リテ北極圈ヨリ南極圈ノ間ニ廣カリ其幅サ九百英里ヨリ四千英里ノ間ヲ上下ス而シテ其面積ハ即チ二千五百萬英里ナリトス

(一三) 其支海ハ何ソヤ

謂ク重ナル支海ハ西方ニハバツヒシ灣、ハッドソン灣、セントローレンス灣、フワンデー灣、メキシコ灣、カリビアン海等ニシテ東方ニハ北海バルチク海、英吉利海、ビスケー灣、地中海又ハヒガイニア灣等ナリ

(一四) 太平洋ノ廣袤及ヒ面積ハ幾何ソヤ

謂ク太平洋ハ亞米利加ヨリ西ノ方亞細亞スマトラ及ヒ澳太刺利亞ニ至リ其廣サ一萬二千

英里其面積ハ九千萬方英里アリ

(八五) 其支海ハ何ソヤ

謂ク重ナル支海ハチコック、日本海、黄海、支那海等西ニアリ
又東ニハ亞米利加ノカリフォルニア灣、パナマ灣等アリ

(八六) 印度洋ノ位置廣袤及ヒ面積幾何ソヤ

謂ク印度洋ハ亞細亞、南氷洋、亞弗利加、及ヒ澳太刺利亞ノ間ニ在リテ廣サ殆ント四千五百英里面積ハ二千萬方英里アリ

(八七) 其支海ハ何ソヤ

謂ク北方ニ紅海、波斯灣、亞刺比亞海ベンゴール灣等アリ

(八八) 北氷洋ハ何處ニアリヤ

謂ク諸大陸ノ北ニアリテ殆ント大陸ノ爲メニ壅塞セラレ

(八九) 其支海ハ何ソヤ

謂ク歐羅巴ニハ白海、カラ海アリ亞細亞ニハチビ灣其他二三ノ小灣アリ

(九〇) 北氷洋ノ水面ハ何ソヤ

謂ク此大洋ノ大部分ハ常ニ堅氷ヲ以テ掩閉セラル

(九一) 南氷洋ハ如何

謂ク南氷洋ハ南極圈ノ中ニ在リテ大西洋、太平洋、印度洋等ニ相接ス而シテ此洋中幾多ノ陸地ヲ發見シタル北氷洋ノ如ク其大部分ハ氷ノ掩閉スル所ナシ

(九二) 大西洋ノ最深キ海底ハ幾英里ナリヤ

謂ク大西洋ノ最深底ハ西印度トバムダノ間ニアリテ其深サ四英里半アリ

(九三) 太平洋ニ於テハ如何

謂ク太平洋中最深ノ處ハ日本ノ海岸ニアリテ其深サ殆ント五英里四分ノ一アリ

(九四) 海水ハ如何ナル旨味ヲ有スルヤ

謂ク海水ハ鹽味アリ安苦ガキモノナリ而シテ一般ニ食鹽トナルヘキ固形體ヲ含有ス

(九五) 海水ノ鹽味ニ濃淡ノ差アルハ何ソヤ

謂ク河水ノ注入若クハ地面ヨリ淡水ノ湧出多キ所ハ海水ノ鹽味大ニ少ナシ

(九六) 其所以如何

謂ク是レ鹽ノ性質密實ニシテ水ノ比ニアラズ故ニ沈下シ淡水ハ乃チ浮上スレハナリ

(九七) 大西洋ト太平洋トノ鹽分ノ割合如何

謂ク太平洋ノ水ハ一般ニ太平洋ヨリ多ク鹽分ヲ含ムモノニテ千分ノ三十四ノ固形體ヲ含

蓄ス

(九八) 海水ノ色相如何

謂ク海水ノ元來純然タル薄藍色ヲ有スルモノナリ而シテ遠ク陸地ヨリ離レタル大洋ノ水色ハ深キ青色ヲ現ス

(九九) 紅海ノ紅色ナルハ如何

謂ク主トシテ細微ノ海藻多ク其海面ニ漂游スル故ナリ

(一〇〇) 日耳曼海ノ綠色ナルハ如何

謂ク一ハ其水ノ純潔ナラザルヨリ一ハ其底砂ニ水色ノ反映スルガ故ニ綠色ヲ呈スルナリ

(一〇一) グリンランド近海ノ橄欖綠色ナル所以如何

謂ク細小ナル一種ノ黃色海月魚ガ茲ニ數萬群ヲナシテ游泳スル故ナリ

(一〇二) 黄海ノ黃色ナルハ如何

謂ク黃色ノ泥土其水底ニ多キカ故ナリ

(一〇三) 黒海ノ黒色ナルハ如何

謂ク數多ノ河流淡水ヲ注クト多キ故ナリ

(一〇四) 海水ノ温度ハ如何

謂ク海水ノ温度ハ空氣ノ温度ノ如ク緯度ニ由テ變スレド空氣ト同一ニ著シキ差異ヲ現ス
トナシ唯海灣ノ著シキ深底ニ於テハ温度ノ變化アリ而シテ所ニヨリテノ變化ハ概シテ少
ナキナリ

(一〇五) 海水ノ深サニ依レル温度ノ變化如何

謂ク海底八百尋ヨリ千二百尋ノ深サニハ通常ノ温度華氏四十度ニシテ二千尋以上ノ深サ
ニハ恒ニ三十五度ノ最低温度ヲ示セリ

(一〇六) 南北氷洋ノ海水温度如何

謂ク此兩洋ノ海水ハ或ル一定ノ面積ニ於テ淡水ノ氷點以下ニ下ル所アリ

(一〇七) 熱帯ノ海灣ハ如何

謂ク熱帯ニ於テハ水面ノ温度華氏ノ八十四度ニ達シ而シテ紅海ノ如キハ華氏ノ九十四度
ニ上ル

(一〇八) 淡水海水ノ氷點ノ差異如何

謂ク淡水ハ華氏三十二度ニ至レバ凍リ海水ハ二十七度ニ凍ル

(一〇九) 海水ノ壓力ハ如何

謂ク海水ノ壓力ハ深サ一千尋毎ニ方寸一噸ノ割合ニテ増加ス故ニ海底二千五百尋ノ下ニ

住スル生類ハ海面ノ方寸ニ噸半ノ壓力ニ堪ユルモノナラザルベカラズ

(二〇) 海面ノ上流ノ趨勢ハ如何

謂ク熱帶地ニ於テハ海面ノ水温度甚々高キ故ニ寒冷ナル北氷洋及ヒ南氷洋ニ向テ流ル、ノ傾アリ

(二一) 底流ハ如何ノ趨勢チ有スルヤ

謂ク寒帶地ニテハ海面ノ水ハ其下層ノ水ヨリ寒冷ナル故ニ其分子ハ益緻密トナリ重量チ増加シテ沈下ス茲ニ於テ底流ナルモノチ生シ海底ニ於テ恒ニ温暖ナル熱帶地ニ向フテ流ル、ナリ

(二三) 流勢ニハ幾種アリヤ

謂ク潮流チ除キ海水ノ流勢ハ之チ三類トス一ハ恒流ニハ時流三ハ逆流ナリ此他氷河ヨリ赤道地方ニ向テ流ル、チ潜流ト云フ

(二三) 恒流トハ何ソヤ

謂ク氣候ノ差異ニ依テ生シ風ノ爲メニ其方向チ變スルモノチ云フ

(二四) 時流トハ何ソヤ

謂ク海陸ノ風若クハ時令風ノ働ニテ生スルモノチ云フ

(二五) 逆流トハ何ソヤ

謂ク總テノ大流勢ト反對ノ方向ニ趨走スルモノチ云フ

(二六) 灣流トハ如何ナルモノナリヤ

謂ク灣流トハ墨西哥灣ヨリ流出シフロリダ海峡チ通過シ東北ノ方向チ取り而シテ北亞米利加ノ海岸ト平行シテ流ル、所ノ温暖ナル水ノ廣キ一帯チ云フ此流ハ殆ント北緯四十五度ニ出ルニ及ンテ東ニ折レ太平洋チ横過シ進ムニ從ツテ益廣リ漸次ニ其温暖ノ氣チ失ヒ終ニ數派ニ分裂スルモノナリ

(二七) 灣海ノ流程及ヒ色相如何

謂ク其全程ハ少クトモ三千英里アルベク其水ハ深青ノ色チ現ハス

(二八) 萍海トハ如何ナル所ソヤ

謂ク萍海トハ流勢四面ニ動搖スルニ拘ハラヌ殆ント静止セル海水ノ體チ云フ

(二九) 萍海ノ名稱ハ如何

謂ク海草多ク其表ニ浮生シ宛モ牧場ノ觀アリ或ハ人其上チ涉ルコチ得是レ水面ノ静止スル所以ナリ

(三〇) 萍海ノ場所ハ何處ナリヤ

謂ク北大西洋ノ萍海ハ北緯十五度ヨリ三十度及ヒ西經二十度ヨリ四十度ノ間ニ在リテ莫大ナル面積ヲ蔽フ此他太平洋及ヒ印度洋ニ於テモアリ

(二三) 南氷洋ノ温度如何

謂ク南氷洋ハ北氷洋ヨリ一層寒冷ニシテ其氷ハ後者ノモノヨリ殆ント六百英里赤道ニ近ク廣カルモノナリ

(二四) 風ノ一般ノ原因如何

謂ク風ノ重ナル原因ハ所ニヨリ寒氣ノ温度ニ相達アル故ナリ

(二五) 陸風ノ起ル原因ハ如何

謂ク晝間陸地ハ海水ヨリ暖ナルカ故ニ陸上ノ空氣ハ之ニ觸レ温度ヲ高メテ昂騰ス而シテ水上ノ寒空ハ争フテ此處ニ吹キ入りテ海風ヲ生スルナリ

(二六) 陸風ノ起ル原因ハ如何

謂ク夜間ハ是レト全ク反對ノ現象ヲ顯ハス則チ陸地ハ其熱ヲ發散スルコト海水ヨリ一層速カニシテ其温度端ナク海水ノ温度ノ下ニ降ルカ故ニ陸地ノ寒空ハ海上ノ暖空ト更代センガ爲メニ之レニ向テ飛ブ之レ陸風ノ起ル所以ナリ

(二七) 龍騰水トハ何ソ

謂ク俗ニ所謂マツマキニシテ二個ノ反對ナル方向ヲ有スル風ガ其旋渦ノ中ニ水ヲ卷上グルモノナリ

(二八) 旋風トハ何ソ

謂ク一種ノ暴風ニテ地圖ノ曲線ニ傍フテ運動スル大ナル旋轉風ナリ

(二九) 波浪ノ生スルハ如何

謂ク風海面ニ吹ク時ハ餘力水ヲ動かシ一波紋ハ一波紋ヲ微シ以テ浪ヲ生スルナリ

(三〇) 波浪ノ高サハ幾何ニ及ブヤ

謂ク外洋ニ在テハ浪ノ高サ四十英尺ニ達スレモ内海波靜カナル所ニ於テハ十英尺ヲ越ユルコトナシ

(三一) 太平洋ノ内海ノ重ナルモノハ何ソヤ

謂ク地中海、北海、バルチツク海、カリビアン海、墨西哥灣等其重ナルモノナリ

(三二) 地中海ノ位置及ヒ其廣袤如何

謂ク地中海ハ歐羅巴ノ南及ヒ亞弗利加ノ北ニ位シ殆ト一百万方英里ヲ蔽フ

(三三) 其支海ハ如何

謂ク地中海ハダーダネルス、アルモラ海及ヒボスボルスニ依テ黒海ニ通ス

(二三) 地中海中ノ島嶼ハ何ソ

謂クハリイリツク諸島、コルシカ島、サーシニア島、シ、リ島、マルテス諸島、アイニアン、島、ブレシアン群島、カンチア島、シプラス島等ナリ

(二四) 北海ハ何處ニアリヤ

謂ク北海ハ東ハ諾威丁抹ニ境シ南ハ日耳曼、和蘭、白耳義ニ境シ西ハ英吉利諸島ニ限ラレ而シテ北ハ遠クアイスランドニ臨ンテ北氷洋ニ通スルモノナリ

(二五) 其面積ハ如何

謂ク殆ント二十五萬方英里アリ

(二六) カリビアン海及ヒ墨西哥灣ハ何處ニアリヤ

謂ク此二海ハ亞米利加大陸ノ本土ト西ト度諸島トノ間ニアリ

(二七) 其面積ハ幾許ナリヤ

謂ク二海ヲ合シテ無慮二百萬方英里ノ面積ヲ有セリ而シテカリビアン海ハ墨西哥灣ヨリ著シク大ナルモノナリ

(二八) 大西洋ニ朝スル河ハ他ニ幾何アリヤ

謂ク歐羅巴ニハセイーン河、ロイル河、ガロン河、ドウロ河、ダグス河等アリ亞弗利

カ、上河、コンゴ河、ナレ、シ河等ニシテ亞米利加ニハセントローレンス河、

河、アマゾン河、ラプラタ河等アリ

大西洋ノ島嶼ノ重ナルモノハ何ソヤ

謂ク大西洋ノ島嶼中最モ重ナル者ハ英吉利諸島ニシテ其面積ハ殆ント十二萬方英里アリ

(二九) 太平洋ノ内海ノ重ナルモノハ何ソヤ

謂ク太平洋ニハ僅ニ四五ノ内海アルノミ白令海、日本海、荷哥斯科海、支那海、パンタ

海等ナリ

(三〇) 太平洋ニ注入スル重ナル河ハ何ソヤ

謂ク亞細亞ニハアムール河、漢口、揚子江、廣東河、ミコ河ナリ亞米利加ニハフラサ

(三一) 太平洋中重ナル島ハ何ソヤ

謂ク太平洋ハ數多ノ島嶼ヲ有スレモ概シテ小ナルモノナリ而シテ其中最大ナルモノハニウツイランド島ナリ

受 驗 日 本 地 理 一 千 題 終

明治二十五年五月二十六日印刷
明治二十五年五月二十七日出版

正續全帙貳錢

一五六

編輯者兼

野口竹次郎

日本橋區本町三丁目九番地

印刷者

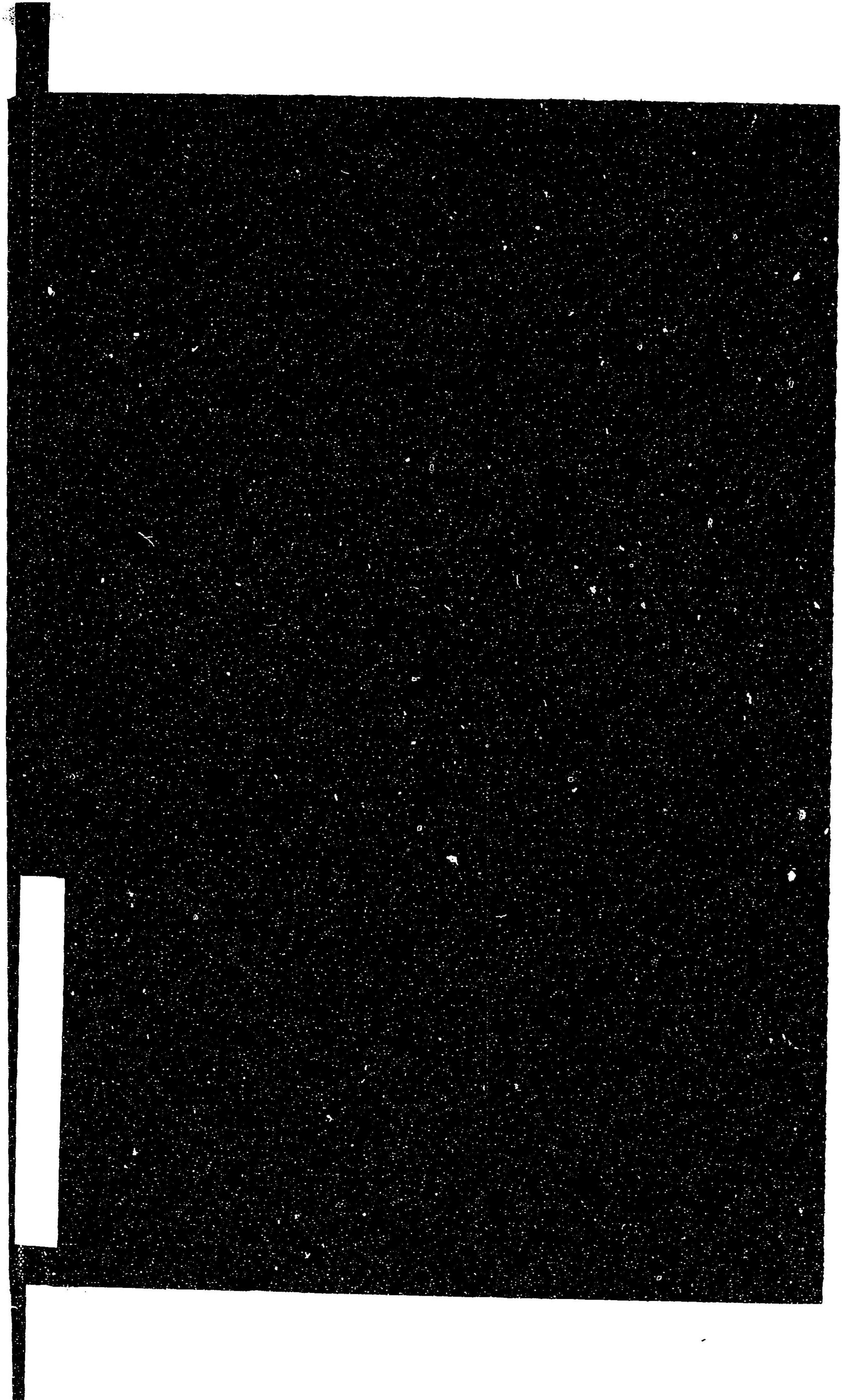
平野善太郎

京橋區柳左衛門町十六番地



發兌書林

東京日本橋區本町三丁目
博文館



特20

194

受験
問答 日本地理一千題

国立国会図書館

049612-000-7

特20-194

日本地理一千題(受験問答)

内山 正如/著

M25

BEM-0315

